

第 24 回中国語コンテスト

2018 年 11 月 29 日（木）10：45－12：00 801 教室

審査員：桑島先生、塩山先生、鄭先生、葛谷

（矢田先生は学部長のお仕事でかなわず）

基礎部門 15 名（内訳：経済 2 名、法 7 名、国 4 名、経営 2 名）応用部門 12 名（内訳：法 2 名、国 9 名、経営 1 名。応募者 1 名〔経済〕体調不良により当日欠席）、全部で 27 名の参加者がありました。

発音に関して例えば介音をしっかり発音すること、声調の組み合わせ~その一つとして第二声と第一声の組み合わせの語の音である「国家」guojia~を的確に押さえることなどが審査の先生より話されました。

基礎部門では課題文も短く、参加者は課題文の分量の多い応用部門の参加者より練習という点では少なかったのではないかと、この点もっと練習してコンテストに出ることが望まれます。

今回参加していない一年生のなかには発音の面で一定水準に達した学生さんもあり、来年度以降、一年生の学生さんの今以上の基礎部門への参加が希望されます。

応用部門の参加者には現代中国学部ではない未修組から中国への派遣留学を経験した学生さんの参加が認められました。基礎部門参加者の一年生にもやれば出来るという励みにもなり、良いことであると思われまます。

応用部門の参加者には江蘇杯と併せて挑戦した学生さんがあり、その積極性は大いに評価されるべきでしょう。

また応用部門では留学経験者ではない学生さんのレベルも高く、この点も評価されるものと思われまます。

以上 （文責 葛谷）